

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 大阪工機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3173 URL <http://www.osk-k.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 柳川 重昌
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 林 祐介 (TEL)06(6765)8201
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月1日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,320	14.5	388	135.5	400	175.2	209	276.3
29年3月期第2四半期	9,889	△5.4	164	△52.7	145	△56.3	55	△69.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 208百万円(-%) 29年3月期第2四半期 △107百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	30.51	—
29年3月期第2四半期	8.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,897	4,778	36.8
29年3月期	13,222	4,632	34.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,745 百万円 29年3月期 4,600 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
30年3月期	—	9.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	10.0	704	31.9	712	34.6	430	18.9	62.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	6,868,840株	29年3月期	6,868,840株
30年3月期2Q	220株	29年3月期	220株
30年3月期2Q	6,868,620株	29年3月期2Q	6,868,620株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント関係等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）における我が国経済は、設備投資・個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調が見られました。

世界経済は、米国・ユーロ圏及び中国などの主要国の景気回復が継続するなど緩やかな景気持ち直しの傾向が見られましたが、米国政権の動向及び緊迫化する朝鮮半島情勢の問題など世界経済における懸念材料も多く、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループの属する機械工具業界は、企業の設備投資意欲が高まっていることから堅調に推移いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、新商材の取扱いやテクニカルセンターの活用など企業成長のための取組みを積極的に展開しました。企業の旺盛な設備需要や中国の景気を持ち直し等の外的要因も影響し、当社を取り巻く環境は堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,320,575千円（前年同四半期比14.5%増）、営業利益は388,477千円（前年同四半期比135.5%増）、経常利益は400,005千円（前年同四半期比175.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は209,595千円（前年同四半期比276.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①切削工具事業

切削工具事業につきましては、昨年開設したテクニカルセンターが本格稼働しており、新規顧客の開拓や社員教育にも活用し、技術営業体制の強化に寄与いたしました。業績に関しましては、大手製造業をはじめとして地方・中小企業にも景気回復の効果が広がりつつある中、当社から販売店を通じて中小金属加工業者等へ商品を納入する卸売部門の業績が堅調に推移いたしました。また、直販部門においても自動車業界の一部主要顧客向けの販売が前年同四半期と比較して増加したことなどから、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は7,226,052千円（前年同四半期比13.0%増）、セグメント利益は184,658千円（前年同四半期比311.4%増）となりました。

②耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、国内製缶業界の主要企業の業績が堅調に推移する中、製缶メーカーの一部主要顧客向けの販売が前年同四半期と比較して増加したことなどから、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,361,618千円（前年同四半期比11.4%増）、セグメント利益は139,883千円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、世界経済の回復拡大を背景に、中国やメキシコにおいて自動車業界向けの一部主要顧客に対する販売が前年同四半期と比較して増加したことなどから売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,248,009千円（前年同四半期比25.9%増）、セグメント利益は48,506千円（前年同四半期は41,288千円のセグメント損失）となりました。

④光製品事業

光製品事業につきましては、外観検査装置業界への光学機器等の販売等に注力したことにより売上高は前年並みの実績となったものの、経費が増加したことからセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は484,895千円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益は17,245千円（前年同四半期比41.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて311,859千円減少し、10,583,112千円となりました。これは主に、現金及び預金が406,583千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて13,281千円減少し、2,314,402千円となりました。これは主に、のれんの償却によりのれんが30,193千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて325,140千円減少し、12,897,515千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて275,659千円減少し、7,057,195千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が210,491千円、短期借入金が153,756千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて195,912千円減少し、1,061,878千円となりました。これは主に、長期借入金が213,167千円減少したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて471,571千円減少し、8,119,074千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて146,430千円増加し、4,778,440千円となりました。これは、利益剰余金が147,777千円（親会社株主に帰属する四半期純利益209,595千円、剰余金の配当61,817千円）増加した一方で、為替換算調整勘定が11,996千円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,223,825千円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、109,572千円（前年同期は78,204千円の使用）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益400,005千円、減価償却費32,728千円、のれん償却額30,193千円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額211,997千円、売上債権の増加額40,895千円、法人税等の支払額123,030千円などがあります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、60,444千円（前年同期は137,195千円の使用）となりました。

収入の主な内訳は、保険積立金の解約による収入10,871千円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出27,316千円、保険積立金の積立による支出17,962千円、本社昇降機の改修工事等による有形固定資産の取得による支出17,607千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、477,907千円（前年同期は290,490千円の獲得）となりました。

支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出259,688千円、短期借入金の減少額154,944千円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては平成29年5月10日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,720,109	1,313,526
受取手形及び売掛金	4,888,928	4,928,383
商品	3,840,560	3,854,314
その他	486,594	527,901
貸倒引当金	△41,220	△41,012
流動資産合計	10,894,972	10,583,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	281,178	279,180
土地	892,438	892,438
その他(純額)	159,599	148,769
有形固定資産合計	1,333,217	1,320,388
無形固定資産		
のれん	85,779	55,585
その他	186,073	184,063
無形固定資産合計	271,853	239,648
投資その他の資産		
その他	748,820	773,477
貸倒引当金	△26,206	△19,111
投資その他の資産合計	722,613	754,365
固定資産合計	2,327,683	2,314,402
資産合計	13,222,656	12,897,515
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,638,179	4,427,688
短期借入金	1,646,818	1,493,062
1年内返済予定の長期借入金	511,472	465,059
未払法人税等	124,315	203,831
賞与引当金	153,142	163,696
役員賞与引当金	22,698	18,498
その他	236,228	285,359
流動負債合計	7,332,855	7,057,195
固定負債		
長期借入金	821,181	608,014
役員退職慰労引当金	184,839	184,588
退職給付に係る負債	238,412	255,019
その他	13,357	14,255
固定負債合計	1,257,790	1,061,878
負債合計	8,590,646	8,119,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	3,818,926	3,966,704
自己株式	△118	△118
株主資本合計	4,499,204	4,646,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,415	54,827
為替換算調整勘定	55,290	43,293
その他の包括利益累計額合計	101,706	98,120
非支配株主持分	31,099	33,338
純資産合計	4,632,010	4,778,440
負債純資産合計	13,222,656	12,897,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,889,486	11,320,575
売上原価	7,907,080	9,030,459
売上総利益	1,982,405	2,290,116
販売費及び一般管理費	1,817,416	1,901,639
営業利益	164,989	388,477
営業外収益		
受取利息	582	664
受取配当金	1,836	2,231
仕入割引	26,461	28,078
補助金収入	—	7,867
その他	6,334	10,300
営業外収益合計	35,214	49,141
営業外費用		
支払利息	9,677	8,990
売上割引	10,337	19,095
為替差損	24,339	4,191
その他	10,519	5,335
営業外費用合計	54,874	37,613
経常利益	145,329	400,005
特別損失		
減損損失	※ 45,552	—
特別損失合計	45,552	—
税金等調整前四半期純利益	99,777	400,005
法人税、住民税及び事業税	85,972	205,147
法人税等調整額	△44,728	△18,054
法人税等合計	41,243	187,093
四半期純利益	58,533	212,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,841	3,317
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,691	209,595

四半期連結包括利益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月 30 日)
四半期純利益	58,533	212,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,367	8,411
為替換算調整勘定	△160,827	△13,075
その他の包括利益合計	△166,194	△4,664
四半期包括利益	△107,660	208,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△105,135	206,009
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,525	2,238

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	99,777	400,005
減価償却費	26,408	32,728
減損損失	45,552	—
のれん償却額	30,193	30,193
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,996	443
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,114	10,200
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,685	△4,301
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22,375	16,619
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,053	△250
受取利息及び受取配当金	△2,418	△2,895
支払利息	9,677	8,990
為替差損益 (△は益)	17,546	△4,736
売上債権の増減額 (△は増加)	616,054	△40,895
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7,943	△8,732
仕入債務の増減額 (△は減少)	△652,432	△211,997
その他	△54,372	9,994
小計	134,563	235,365
利息及び配当金の受取額	2,415	2,894
利息の支払額	△9,395	△5,658
法人税等の支払額	△205,787	△123,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	△78,204	109,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△52,023	△17,607
有形固定資産の売却による収入	1,113	15
有形固定資産の売却に係る手付金収入	26,750	—
無形固定資産の取得による支出	△89,180	△1,016
投資有価証券の取得による支出	△5,866	△5,611
定期預金の預入による支出	△3,300	△27,316
保険積立金の積立による支出	△17,720	△17,962
保険積立金の解約による収入	872	10,871
その他	2,157	△1,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,195	△60,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△92,862	△154,944
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△229,565	△259,688
配当金の支払額	△85,647	△61,679
非支配株主への配当金の支払額	△1,434	△1,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	290,490	△477,907
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89,385	△5,121
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,296	△433,901
現金及び現金同等物の期首残高	1,359,985	1,657,727
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,345,689	1,223,825

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類	減損損失(千円)
広島県大竹市	倉庫	土地	24,140
		建物	1,100
広島県広島市中区	事務所	建物	20,311

当社グループは、事業用資産については原則として営業エリア毎に、遊休資産については物件単位毎にグルーピングを実施しております。

上記資産グループについては、売却を決議したことにより引渡し時点での損失発生が見込まれたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却予定価額に基づき算定しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	6,394,701	1,222,460	1,785,804	486,520	9,889,486	—	9,889,486
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,004	—	8,001	—	16,006	△16,006	—
計	6,402,706	1,222,460	1,793,805	486,520	9,905,493	△16,006	9,889,486
セグメント利益 又は損失(△)	44,885	135,977	△41,288	29,460	169,034	△4,045	164,989

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,045千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

大竹倉庫及び広島支店の売却を決議したことに伴い回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を認識するに至りました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては45,552千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,226,052	1,361,618	2,248,009	484,895	11,320,575	—	11,320,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,985	—	8,208	—	14,193	△14,193	—
計	7,232,037	1,361,618	2,256,218	484,895	11,334,769	△14,193	11,320,575
セグメント利益	184,658	139,883	48,506	17,245	390,293	△1,816	388,477

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,816千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。